

堺政推第1023号  
令和7年12月5日

堺市自治連合協議会  
校 区 代 表 者 様

堺市市長公室  
政策企画部長

### 堺市基本計画2030（案）のパブリックコメントの実施について

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申しあげます。  
また平素は市政にご協力賜りありがとうございます。  
都市経営の基本となる計画である「堺市基本計画2025」が令和7年度をもつて計画期間が満了することに伴い、次期計画となる「堺市基本計画2030（案）」の策定を進めています。  
つきましては下記の期間にパブリックコメントの実施を予定していますので、お知らせします。

#### 記

##### 1 計画策定の目的

市政を取り巻く環境が厳しさを増す中にあっても、市民が安心して暮らし続けることができ将来にも夢と希望が持てる都市であるよう、持続可能な都市経営の推進を目的に策定します。

##### 2 計画（案）の概要

別添「堺市基本計画2030（案）の概要」のとおり

##### 3 今後のスケジュール（予定）

令和7年12月～令和8年1月 パブリックコメントの実施

令和8年2月 市議会に提案

（問合せ先） 堺市 市長公室 政策企画部 政策推進課（担当 熊谷）  
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号  
TEL（072）228-7517（直通）  
FAX（072）222-9694

## I 計画策定について

### 計画策定の目的

- 市政を取り巻く環境が厳しさを増す中にも、市民が安心して暮らし続けることができ将来にも夢と希望が持てる都市であるよう、持続可能な都市経営の推進を目的に策定した。

### 計画の位置づけ

- 2035年度を見据え2030年度までの5年間に取り組む基本的な方向性を示す市政運営の大本針であり、本市の最上位計画
- 「堺市基本計画2025」のもと取り組んできた様々な課題への対応や未来への挑戦を過去に戻すことなく今後も着実に推進する観点から「堺市基本計画2025」の基本的な考え方や構造は引き継ぎつつ、より効果的な内容へと見直す形で策定した。

### 計画期間

- 2026年度～2030年度

## II 社会潮流

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ・人口減少・高齢化と単独世帯の主流化 | ・安全・安心な社会を希求     |
| ・こどもまんなか社会の実現      | ・地球規模の環境問題への対応   |
| ・デジタル化やDXの進展       | ・SDGs達成に向けた取組の強化 |
|                    | ・経済環境の変化         |

## III 主要指標から見た本市の状況

### 将来推計人口

- 総人口は2045年には70万人を下回る見込み
- 年少・生産年齢人口の比率は低下、高齢者人口の比率は上昇する見込み

### 人口動態等

- 自然増減は2011年以降14年連続で自然減
- 社会増減は2022年以降3年連続で社会増
- 昼夜間人口比率は100未満の水準で横ばい、政令指定都市平均を下回る

### 平均寿命と健康寿命

- 平均寿命は男女とも延伸傾向であるが、政令指定都市平均を下回る
- 健康寿命は男女とも2019年まで延伸傾向であったが直近の2022年は短縮
- 健康寿命は男性が政令指定都市平均と同程度、女性は下回る

### 事業従事者1人当たりの付加価値額

- 事業従事者1人当たりの付加価値額は直近の2021年は減少、政令指定都市平均を下回る

### 財政状況

- 歳入と歳出はいずれも減少傾向であったが、2024年度に増加
- 財政収支見通しは推計期間中を通して収支不足が続く見込み

## IV 都市像

### 都市像

- 厳しい都市経営が予想される中、本市が将来において持続的に発展し、暮らしやすい都市であるためには、未来に向かってイノベーションを生み続けなければならない。時代の変化を的確に捉え柔軟に対応しながら、変化を恐れず果敢に挑戦・創造し続ける本市の都市像として「未来を創るイノベーティブ都市」を掲げる。

### 未来を創るイノベーティブ都市

～変化を恐れず、挑戦・創造し続ける堺～

### 基本姿勢

- 都市像のもとにイノベーティブに重点戦略の施策を推進する上で必要となる4つの基本姿勢を掲げる。

#### 持続可能性

～Sustainable～  
SDGsの理念を踏まえ地域社会が持続する。

#### 多様性

～Diversity～  
多様性を認め合い、人々が自分らしく活躍できる。

#### ともに創造

～Co-creative～  
市民・企業など様々な主体が思いを共有し共創する。

#### Society5.0

～Smart～  
ICTやデータの活用により、便利で快適に活動できる。

### 重点戦略

▶ 重点戦略の各施策は3～9ページ参照

- 都市像と基本姿勢のもとに今後5年間で重点的に取り組む5つの分野を重点戦略として設定する。

#### 堺の特色ある歴史文化

～Legacy～

#### 人生100年時代の健康・福祉

～Well-being～

#### 将来に希望が持てる子育て・教育

～Children's future～

#### 人や企業を惹きつける都市魅力

～Attractiveness～

#### 強くしなやかな都市基盤

～Resilience～

### 2035年度にめざすゴール（KGI）

- 持続可能な都市経営を推進するために、特に重要と考える2035年度にめざすゴール（KGI）を設定する。

#### 将来推計人口を上回る人口

(現状値) 2035年推計値 74.4万人  
(目標値) 2035年度 75.6万人

#### 健康寿命

(現状値) 2022年 男72.50年 女73.66年  
(目標値) 2035年度 男75.00年 女77.00年

#### 事業従事者1人当たりの付加価値額

(現状値) 2021年 467万円  
(目標値) 2035年度 577万円

### 空間像・エリア戦略

▶ 詳細は2ページ参照

- 各エリアの10年後の姿である空間像とその実現のために取り組む主な施策をエリア戦略として示す。

#### 交流ゾーン

人々が訪れ、様々な交流を創出する

#### 成長ゾーン

都市の成長や産業の発展を促す

#### 居住環境ゾーン

住みたい、住み続けたいと感じる

### 計画の推進

- 本計画を進める上で基本的な視点や手法を示す。

#### 平和と人権の尊重

平和と人権を尊重する視点を持って進める。市が率先して男女共同参画社会や多文化共生社会をめざす。

#### 不断の改革

行財政改革に加え財政面だけでなく組織運営面にも踏み込み抜本的に見直す構造改革に取り組む。

#### 戦略的広報の推進

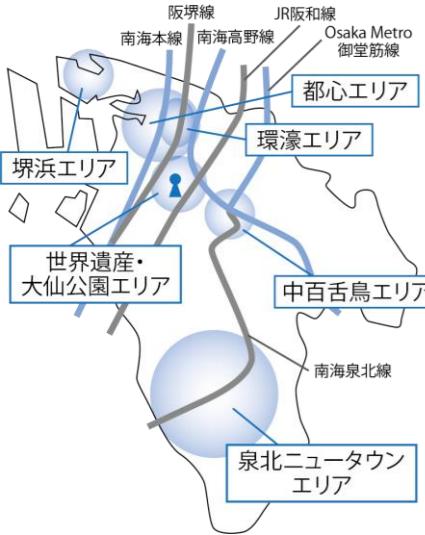
広報活動を戦略的に推進し市政への信頼獲得、ブランド力の向上など市のプレゼンスを高める。

#### 利便性が高く信頼される区役所の実現

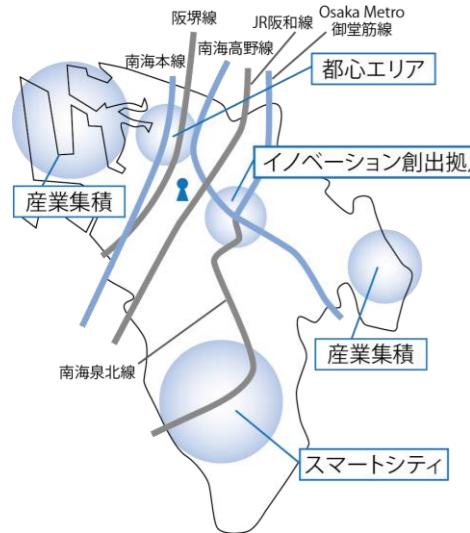
利便性が高く住民から真に信頼される区役所をめざす。政令指定都市としての都市経営を戦略的に推進する。

# 空間像・エリア戦略

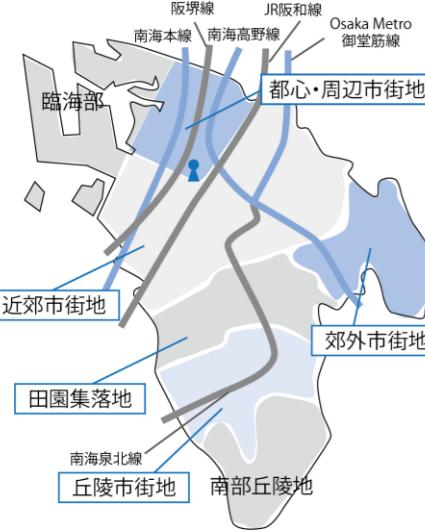
## 【交流ゾーン】



## 【成長ゾーン】



## 【居住環境ゾーン】



エリア	空間像	エリア戦略
都心エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な都市機能が集積し、国内外から人が集い交流するエリア</li> <li>ウォーカブルな都市空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業や業務等の都市機能の集積促進</li> <li>堺旧港の水辺空間を活かした魅力向上</li> <li>都心内及び市内外との交通ネットワークの強化</li> <li>安全・快適に過ごせる人を中心のウォーカブルな都市空間の形成</li> </ul>
世界遺産・大仙公園エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力を発信するエリア</li> <li>国内外の多くの来訪者にとって魅力あるおもてなし環境の整ったエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古墳の雄大さが体験でき世界遺産の価値に触れることができる取組の推進</li> <li>(仮称) 堀ミュージアムの整備の推進</li> <li>中央図書館の再整備の推進</li> </ul>
環濠エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化や水・緑を活かした堺独自の個性・魅力を有する都市空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町家や寺社等の歴史的なまちなみ景観の保全・形成</li> <li>環濠の水辺を活かした魅力の創出</li> <li>環濠エリア内及び市内各エリアとの回遊性を向上させる観光周遊ルートの整備</li> </ul>
堺浜エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>海辺の特性を活かした憩い・賑わいのある魅力的な海辺空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海辺の特性を活かしたスポーツ、レクリエーションや商業、集客の機能強化</li> <li>大規模緑地や人工海浜等を活かした魅力ある親水空間の整備</li> </ul>
中百舌鳥エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節点としての高い利便性、大学や産業支援施設の立地を活かし様々な分野の人材が交流するエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携の推進、新産業を創出する次世代クラスターの形成</li> <li>駅周辺の低未利用地の活用による賑わい・交流を生み出す都市機能の導入</li> </ul>
泉北ニュータウンエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな緑空間や商業・文化・医療・学術機能の集積等を活かし幅広い世代の人が賑わい交流するエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな緑の保全・育成と緑を活かした魅力創出</li> <li>多様な健康・医療サービスなど健康長寿を実現する都市機能の向上</li> <li>公的賃貸住宅の更新による新たな都市機能の導入</li> </ul>
エリア	空間像	エリア戦略
都心エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な都市機能が集積する南大阪都市圏の拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業や業務等の都市機能の集積促進</li> <li>堺東駅及び堺駅前空間の再編の推進</li> </ul>
イノベーション創出拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学や産業支援施設、職住一体・近接型の業務機能等が集積し、最先端テクノロジーとビジネスを創造する拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートアップやICT関連企業、先端技術を有する研究機関の集積促進</li> <li>産学官連携の推進、新産業を創出する次世代クラスターの形成</li> </ul>
スマートシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>泉北ニュータウンにおいてヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資するスマートシティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケア・モビリティなど様々な分野におけるICTを活用した取組の推進</li> </ul>
産業集積	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な生産機能や物流機能等の集積など世界をリードする臨海部の拠点</li> <li>広域アクセシビリティに優れた立地を活かし、産業機能が集積する内陸部の拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の競争力を高める投資の促進など産業機能の高度化</li> <li>堺泉北港の機能等を活かした付加価値の高い産業や高度な物流機能など産業集積の促進</li> <li>美原区周辺の幹線道路による広域アクセシビリティを活かした物流や環境関連など産業機能の誘導</li> </ul>
エリア	空間像	エリア戦略
都心・周辺市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高層住宅等の立地により高い居住密度を維持し、堺東駅・堺駅周辺地域を核とした都市機能の集積により、公共交通の利用と徒歩等で様々な都市活動が実現できる市街地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市型住宅の供給など利便性を活かした居住の促進</li> <li>楽しく回遊できる歩行者空間の形成及び自転車通行環境の整備</li> </ul>
近郊市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>成熟した良好な住宅地の居住環境を継承しつつ、中高層住宅等の立地により一定の居住密度を維持し、拠点周辺の日常生活を支える施設の集積により、公共交通の利用と徒歩等で日常生活が送れる利便性の高い市街地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市型住宅の供給など利便性を活かした居住の促進</li> <li>新金岡地区における公的賃貸住宅の更新を契機とした住環境の向上</li> <li>道路ネットワーク構築によるミッシングリンクの解消及び渋滞緩和による住みやすさの向上</li> </ul>
郊外市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸建住宅と農地や緑地が共存するゆとりと潤いのある環境を有し、拠点周辺の日常生活を支える施設の集積により、公共交通や自動車の利用で拠点に出掛けることができる市街地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情を踏まえた農地利用の最適化や営農環境の維持・改善</li> <li>防災・教育など農空間を活用した取組の推進</li> <li>拠点周辺や幹線道路沿道への商業機能等の集積促進</li> </ul>
丘陵市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適な居住環境を維持・向上し田園空間とも調和を図りながら多様な世代が集い、働き、暮らす市街地</li> <li>拠点周辺の日常生活を支える施設の集積により、公共交通の利用と徒歩等で日常生活が送れる利便性の高い市街地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年・子育て世帯のニーズに合った住環境の形成など若年・子育て世帯の居住促進</li> <li>職住一体・近接型の就業の場の形成</li> <li>公的賃貸住宅の更新による新たな都市機能の導入</li> </ul>
田園集落地	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然と古くからの集落が共存したゆとりと潤いのある環境を有し、公共交通や自動車を利用し日常生活を支える施設の集積する拠点に出掛けることができる市街地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情を踏まえた農地利用の最適化及び河川等の自然の保全</li> <li>買い物や通院等がしやすい市街地の形成</li> </ul>
臨海部	<ul style="list-style-type: none"> <li>海辺の特性を活かした憩い・賑わいのある魅力的な海辺空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海辺の特性を活かしたスポーツ・レクリエーションや商業・集客の機能強化</li> <li>大規模緑地や人工海浜等を活かした魅力ある親水空間の整備</li> </ul>
南部丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然と農業に触れ親しめる場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な維持管理のもと良好な里地里山環境を形成するなど緑豊かな自然の保全</li> </ul>

※施策・取組の方向性は「堺市基本計画2025」から再編しています。また主な内容で「堺市基本計画2025」から新たに盛り込んだ内容、KPIで新たに設定した指標は朱書きにしています。

施策	取組の方向性	主な内容	KPI		
			指標	現状値	目標値
<b>1 堺の特色ある歴史文化～Legacy～</b> 堺の類いまれな歴史文化資源に磨きをかけ後世にその価値を引き継ぎ、歴史や文化芸術、国際交流を通じて都市のブランド力の向上を図り、新たな誘客や交流を生み出す。					
1- (1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ	●市民等との協働による古墳の確実な保全 ●他自治体と連携した古墳群の価値や魅力の発信 ●ガス気球による眺望環境の充実 ●類いまれな歴史文化の継承・発信・連携拠点となる（仮称）堺ミュージアムの整備 ●鉄炮鍛冶屋敷等の保全・活用 ●茶の湯文化の発信強化、体験機会の充実 ●貴重な伝統文化の祭りの魅力発信	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数	848万人 (2024年度)	1200万人 (2030年度)
	魅力ある地域資源を活かした優良な観光コンテンツの創出と充実	●桜や紅葉など四季の風情等が感じられる観光コンテンツの造成 ●相撲など特色ある日本文化資源の観光への活用 ●堺ゆかりの人物に着目した都市魅力の発信 ●地元で愛される飲食店や阪堺線などローカルな資源の魅力発信 ●工場夜景ツアーの開催など早朝や夜間の観光コンテンツの充実			
	来訪者の満足度を高めるおもてなし環境の充実	●インバウンド誘客等に向けた多言語対応や多様な食習慣等を満たす飲食店の発信 ●飲食施設等を活用した憩いの空間創出や百舌鳥駅前広場整備など大仙公園エリアの受入環境の充実 ●環濠エリアの水辺における民間活力を活かした賑わい創出 ●堺旧港周辺の海辺の特性を活かした魅力的な空間形成			
1- (2) 戦略的な観光誘客による地域の活性化	データ等に基づく観光施策の推進	●インバウンド等のマーケティング分析のノウハウを有する大阪観光局と連携した戦略的な観光施策の推進 ●携帯電話の位置情報ビッグデータ等の分析に基づく戦略的なプロモーションの展開	1人当たりの市内観光消費額	10,046円 (2024年度)	20,000円 (2030年度)
	滞在時間を増やし、消費効果を高める周遊の促進	●市内各拠点エリアをつなぐ観光の仕掛けや周遊ルートの充実 ●事業者等と連携した体験・宿泊メニューの創出 ●大阪観光局と連携した大阪市内に滞在する外国人旅行者等の堺への誘客 ●大阪観光局や鉄道事業者等と連携したモデルコース作成や受入環境の整備 ●文化・スポーツ等のMICE開催の支援			
	多様な移動環境の充実	●堺東駅と堺駅を結ぶ新たな自動運転移動サービスの導入 ●海上交通の導入に向けた取組の推進 ●移動距離や需要に応じた多様な交通手段の提供 ●大和川リバーサイクルライン等を活用した周遊の促進			
1- (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化	文化芸術の拠点としての新たな需要の創出	●フェニーチエ堺における多彩な公演等による文化芸術に触れる機会の充実、来訪機会の創出 ●翁橋公園など周辺施設との連携によるフェニーチエ堺来場者への観光・周遊の促進 ●地域文化会館等の利便性向上等による利用促進	文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合（概ね1年以内）	48.5% (2025年度)	60.0% (2030年度)
	「堺アーツカウンシル」等を活用した文化芸術の振興	●「堺アーツカウンシル」のサポート等を通じた文化芸術活動に触れる機会の創出、文化芸術のすそ野の拡大 ●乳幼児を含む子どもが身近な場所で文化芸術に親しめる機会の充実 ●地域の文化振興の中核となる人材の育成			
	姉妹・友好都市やアセアン諸国をはじめとする各国との国際交流の強化	●各国との交流実績や大阪・関西万博等のレガシーを活かした幅広い分野での国際交流の強化 ●外国公館等との連携強化やネットワークの形成 ●郷土愛と豊かな国際感覚を持つグローバル人材の育成 ●市民が諸外国の文化に身近に触れる機会の提供 ●定住外国人が地域に溶け込める環境の整備			
1- (4) 伝統産業のブランド力向上による活性化	伝統産業のブランド化	●「sakai kitchen（堺キッチン）」の活用等による伝統産業の認知度向上、ブランド化の推進 ●堺伝匠館における販売拡大や魅力発信等の推進 ●観光・文化施設との連携強化による伝統産業の活性化等の推進 ●生産現場の見学や製作体験等を通じた職人の技術に触れる機会の提供	堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額	281,651千円 (2024年度)	450,000千円 (2030年度)
	戦略的な販路開拓と生産力強化	●商品開発や販路開拓にチャレンジする事業者への重点的な支援 ●生産力強化に向けた設備投資や未来を担う後継者の育成等の支援			
1- (5) 「サイクルシティ堺」としてのブランド力と都市魅力の向上	自転車の歴史文化を活かした魅力創出	●シマノ自転車博物館等と連携した自転車の歴史文化や魅力の発信強化 ●健康やスポーツ、観光面等における自転車の利用促進 ●体験機能やサイクルサポート機能等を有した施設の整備 ●大和川沿川市等と連携した相互周遊等による新たな誘客や交流の促進	「サイクルシティ堺」としての都市魅力の認知度	—	70.0% (2030年度)
	自転車の利用環境の充実	●連続性を確保した自転車ネットワークの形成 ●百舌鳥古墳群等の歴史文化資源を周遊できる通行環境の整備 ●キャッシュレス化など利用者ニーズに沿った駐輪環境の向上 ●既存駐輪場の統合・再配置・改修の推進 ●利用状況のデータ分析等に基づくシェアサイクルポートの拡充			
	自転車の安全利用の促進	●ライフステージや属性に応じた交通安全教育の充実 ●警察等と連携した交通安全講習会等の啓発の強化 ●自転車事故による重傷者・死亡者の減少等に向けた乗車時のヘルメット着用の徹底			

施策	取組の方向性	主な内容	KPI		
			指標	現状値	目標値
<b>2 人生100年時代の健康・福祉～Well-being～</b>					
2- (1) 健康で長生きで きる都市の実現	健やかな生活習慣の形成	● 健康的な生活習慣の確立に向けた科学的知見に基づく普及啓発の推進 ● 多様な手法によるライフステージやライフコースアプローチを踏まえた健康支援の展開	特定健康診査（職場 の健康診断や人間ドッ クを含む）を受けてい ると答えた人の割合	72.3% (2024年度)	81.0% (2030年度)
	生活習慣病の発症・重症化予防	● 過去の受診履歴等のデータやナッジ理論を活用した健（検）診の受診勧奨 ● 生活習慣病の発症・重症化予防やフレイル予防に重点を置いた支援の充実・強化			
	健康を支える地域社会の形成	● 地域のキーパーソンとなる市民や関係機関と連携した自主的な活動やボランティア活動の支援 ● 地域で健康チェックや健（検）診の受診等を行える環境の整備 ● 健康増進活動に取り組む企業等の増加促進 ● 動物指導センターの機能強化等による適正飼育の啓発、動物愛護意識の向上、災害時の動物救護等の取組の推進			
	地域医療体制の充実	● かかりつけ医から高度医療機関までの役割分担と連携の強化 ● 災害時に医療救護活動を迅速かつ適切に行うための地域医療体制の強化 ● ICTを活用した病院選定等による円滑な救急搬送や受入体制の充実、AEDを含む応急手当の啓発等の推進			
	感染症対策の充実	● 感染症の情報収集や正しい知識の普及 ● マスク等の防護具や検査体制等の確保・充実 ● 発生状況の把握や関係機関と連携した研修・訓練等による対応力の向上、関係機関との連携体制の強化			
	在宅医療と介護の連携強化	● 医療・介護に携わる様々な職種間のネットワークの強化 ● ICT等を活用した情報共有によるケアの質の向上			
2- (2) 暮らしを支える包 括的な支援と地 域福祉の充実	望まない孤独・孤立対策の推進	● 居場所や相談等を通じたつながりの確保など多面的な支援 ● 相談・支援が必要な人に確実に情報を届けるための様々な機会や媒体を活用した発信の強化	生活や健康等の悩み があるときの相談窓口 を知っていると答えた人 の割合	48.9% (2024年度)	80.0% (2030年度)
	複雑・多様化した課題への重層的 な支援	● 複合的な課題に対してどの福祉関係機関の窓口に相談しても必要な支援につながる重層的な支援体制の整備 ● 複雑・多様化している課題に対応するための人材育成や分野を横断する支援ネットワークの強化 ● 困難を抱える女性への関係機関と連携した支援 ● 矯正施設出所前後に支援が必要な人への再犯防止・更生の支援			
	DVの防止	● DV防止に係る啓発の充実 ● 被害者への相談から保護、自立までの切れのない支援			
	自殺者ゼロに向けた取組の推進	● ゲートキーパーの拡充など孤立させない環境の形成 ● 子どもの自殺対策強化に向けた専門家による支援等の推進 ● 警察等と連携した自殺未遂者へのフォローアップ ● うつ病等のメンタルヘルス対策や自殺予防のための知識の普及啓発			
	ひきこもりへの取組	● ひきこもりで悩む家族や本人が状況等に応じて適切な相談支援機関につながる体制の整備 ● ひきこもりの多様な背景や高年齢化を踏まえた正しい理解や対応の啓発			
	依存症対策の強化	● 依存症の本人や家族が必要な治療や支援につながる体制の整備 ● 近隣自治体と連携した依存症の正しい知識や情報の普及啓発			
	権利擁護支援体制の強化	● 多様な分野・主体と連携した地域連携ネットワークの機能強化の推進 ● 権利擁護サポートセンターによる相談支援機関に対する専門的助言や後見人等の担い手の確保・育成等の推進			
	多様な居場所や地域福祉活動への支援	● 地域のコーディネーター役を担える人材を幅広い世代を対象として発掘・育成 ● 多様な居場所の創出や地域福祉活動の支援を通じた様々な主体による地域の活性化の推進			
	面的・一体的なバリアフリー化の推進	● 鉄道駅や生活関連施設等における面的・一体的なバリアフリー化の推進			
2- (3) 高齢者が住み慣 れた地域で心豊 かに暮らし続けら れる社会の実現	自立支援・介護予防・健康増進の推進	● 身近な地域で介護予防に取り組むための介護予防教室の充実 ● 介護予防の無関心層を呼び込む取組の推進 ● 要支援者等の自立支援・重度化防止の取組の推進 ● 適切な介護予防・生活支援サービスを利用できる体制の充実 ● 健康寿命の延伸と持続可能な介護保険制度実現に向けた取組の強化	新規要支援・要介護 認定者の平均年齢	80.2歳 (2023年度)	81.7歳 (2030年度)
	在宅ケアの基盤整備	● 地域のネットワーク機能の充実など地域包括支援センターを軸とした支援体制の強化 ● 関係機関との連携のもとダブルケア相談窓口の利用促進 ● ICTを活用した新たな手法による高齢者の見守りの推進			
	介護サービスの充実・強化	● 介護サービスの質の向上 ● 将来を見据えたサービス基盤確立による円滑に利用できる環境の整備 ● 介護人材の確保や定着促進に向けた介護に対するイメージの向上や魅力発信の推進 ● 介護老人福祉施設等のサービス見込量を踏まえた整備の促進			

施策	取組の方向性	主な内容	KPI					
			指標	現状値	目標値			
2- (3) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	認知症支援策の推進	● 地域全体で認知症の人やその家族を見守り、支える体制の整備 ● 認知症の正しい知識・理解の普及や早期発見・早期対応、居場所の提供など総合的な支援策の推進	※前ページ記載	—	—			
	高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備	● 適切な住宅改修の支援や緊急通報システムの周知・拡充等による高齢者の生活環境の整備 ● 高齢者の消費者被害の防止に向けた見守りや支援に携わる関係機関・団体との連携強化 ● <b>自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるための終活に対する相談や普及啓発等の推進</b>						
	高齢者の社会参加と生きがい創出の支援	● 就業・教養・趣味・スポーツ・ボランティアなど多様な活動への参加の支援 ● 高齢者の地域活動等への参加意欲の醸成や行動変容を促す働きかけの推進						
2- (4) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	相談支援体制の充実・強化	● 障害者基幹相談支援センターを中心とした相談支援や必要なサービスの提供体制の充実・強化	福祉施設から一般就労への移行者数	244人 (2023年度)	321人 (2030年度)			
	障害者の暮らしの場の確保	● 障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の充実、地域生活支援拠点等の機能強化 ● グループホームを中心とした暮らしの場の整備や入居者の状況に応じた機能強化の推進 ● <b>強度行動障害のある人など重度障害者の支援人材の育成や支援体制の整備の推進</b>						
	障害者の社会参加の促進	● ロールモデルの発信や活動機会の充実を通じた障害者の生きがい創出や社会参加の促進 ● 障害者の参画による地域における障害の理解促進 ● 障害福祉施設と企業とのマッチングの実施など特性等に応じた多様な働く場や就労支援の充実						
	障害のあるこどもとその家族への支援	● 障害児保育の充実や放課後児童対策における受入体制整備など障害児とその家族が安心して暮らせる環境の整備 ● 医療的ケア児等コーディネーターの配置を含めた障害のあるこどもの発達支援とその家族への支援の充実 ● 研修や巡回支援の充実による関係機関の専門性の向上、支援体制の強化						
2- (5) 生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	ライフステージに応じたスポーツ・運動習慣の定着	● 幅広い世代に対しスポーツ・運動習慣を定着させる取組の推進 ● <b>中学校部活動の地域連携・地域展開の促進</b> ● 運動時間を確保しにくい層等へのライフスタイルに応じた情報の発信 ● フレイル予防等につなげるためのウォーキングなど低負荷で継続しやすい運動の普及促進	スポーツ・運動習慣者割合 (1回30分以上の運動を週2回以上行う者)	56.3% (2024年度)	70.0% (2030年度)			
	気軽にできるスポーツの機会創出	● 軽度の運動習慣がある人を本格的なスポーツ実施につなげるための気軽にスポーツできる機会の提供 ● 総合型地域スポーツクラブの創設や指導者の育成、加入者増加の支援 ● <b>若年層のスポーツ・運動への関心を高めるためのアーバンスポーツの普及促進</b>						
	多彩なスポーツ活動を通じた交流促進	● 堺市民オリンピック等の市民参加型のスポーツ大会の開催、ニュースポーツの普及促進 ● 健康福祉プラザスポーツセンターを拠点に障害者がスポーツ・運動を始める機会の提供や活動継続の支援 ● 指導者の育成や指導者とのマッチングの支援 ● <b>スポーツ指導者等のハラスマント防止に向けた取組の実施</b>						
	特色ある大規模スポーツ施設の活用	● 大規模スポーツ施設でのイベント等を契機としたスポーツツーリズムの推進 ● <b>大浜公園相撲場を活用した取組による相撲ファンをはじめとした誘客の促進</b> ● ワールドマスターズゲームズ2027関西における国際交流機会の提供、観光誘客の促進						
	堺ゆかりのトップレベルチームとの連携強化	● 堀ゆかりのトップレベルチームのホームゲームや交流イベント等の開催 ● 本市をホームタウンとするチームの国内リーグ戦等の機会を活かした本市のPRの実施						
	夢に挑戦する次世代人材への支援	● J-GREEN堺を拠点とするJFAアカデミー堺と連携した次世代人材の育成 ● トップレベルチームに所属する選手や本市出身のトップアスリートと連携したスポーツ教室等の開催 ● 地域に密着しスポーツ機会を提供するスポーツ少年団との連携、指導者派遣による運動部活動の支援						
<b>3 将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~</b>								
子どもの今が大切にされ将来に希望を持って健やかに育ち未来にはばたけるよう、子どもを安心して生み育て、より良い教育を受けられる環境を整備する。								
3- (1) 妊娠から青年期まで切れぬない子育て支援の充実	妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援	● 専門職による保健指導やアウトドア対応、産後ケアなど安全で安心して出産や子育てができる環境の整備 ● <b>相談窓口や子育て支援策の丁寧で分かりやすい発信の強化、窓口での双方向のコミュニケーションを重視した対応</b> ● みんなの子育てひろばなど地域で集まる場所やSNSなど多様な交流の場の充実	堺市は子育てしやすい都市だと思うと答えた保護者の割合	62.3% (2024年度)	73.0% (2030年度)			
	多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供	● 保育人材の確保 ● 待機児童ゼロの維持及び保育ニーズと受入枠のミスマッチ解消、利用に係る利便性向上の推進 ● 柔軟な保育ニーズに応える支援の充実、質の高い保育サービスを多様な形で提供できる体制の整備 ● <b>医療的ケア児や特別支援児等の配慮を要する子どもの受入体制の確保</b> ● <b>子ども誰でも通園制度の実施</b>						

施策	取組の方向性	主な内容	KPI		
			指標	現状値	目標値
3- (1) 妊娠から青年期 まで切れめのない 子育て支援の充実	学童期から青年期のこども・若者と 家庭への支援	●放課後児童対策等事業の待機児童ゼロの維持及び制度の統一化 ●社会全体で子どもの成長を見守り支え合う環境の整備 ●子ども食堂の持続的運営に向けた地域の関係団体等と連携した支援	※前ページ記載	—	—
	こども・若者の意見聴取と施策への 反映	●こども・若者が意見を表明しやすい環境整備や多様な手法による参画機会の充実 ●健やかな成長に対する支援等を主たる目的とする施策及び教育・雇用・医療等の施策に意見を反映する取組の推進			
3- (2) 子どもの可能性を 伸ばし未来を切り拓く力を育む教 育の推進	郷土・堺の歴史を学び、発信できる 力の育成	●堺が有する貴重な歴史を学び、伝統や文化、イノベーション精神など堺の土台を継承する取組の推進 ●国際交流や外国の文化等に触れる機会の充実、国際感覚や広い視野の育成	学力が伸びた児童生 徒の割合	小5 国語：77.5% 算数：68.7% 中2 国語：59.4% 数学：79.1% (2025年度)	小5 国語：83.0% 算数：74.0% 中2 国語：70.0% 数学：84.0% (2030年度)
	新しい時代に必要となる資質・能力 の育成	●確かな学力の育成 ●IRT調査などの教育データを活用した取組の推進 ●「学びのコンパス」に基づく授業改善 ●家庭学習の充実や習慣化に向けた支援の強化 ●学校群でのマネジメントの推進 ●コミュニケーションを重視した英語教育の推進 ●情報モラルを含む情報活用能力の育成 ●高校の専門教育の充実			
	健やかな心身の育成	●基本的な生活習慣の小学校入学前からの情報発信 ●こどもの睡眠実態の把握、睡眠教育の推進 ●運動に親しむ機会の充実、運動意欲・能力を高める取組の推進 ●部活動をしない日の設定、活動の充実 ●拠点校制度の拡充や部活動の地域との連携、地域クラブ活動への展開			
	特別支援教育の推進	●合理的配慮の提供及び基礎的環境の整備、個々の教育的ニーズを把握した適切な指導と必要な支援の充実 ●専門家の指導・助言等による教員の専門性や指導力の向上			
	日本語指導が必要な児童生徒等 への支援	●日本語指導が必要な児童生徒等への学習支援等の推進 ●日本語指導が必要な児童生徒等への支援を通じた全児童生徒が多様な価値観や文化の中でともに学ぶ環境の形成			
3- (3) 多様性を尊重し た教育の推進	個性や違いを認め自他ともに尊重 できる心の育成	●体験・交流活動や全校での「堺・スタンダード（あいさつ運動・読書活動・茶の湯体験）」の取組の推進 ●自尊心を高める取組や多様な価値観や文化、互いのアイデンティティを尊重できる心を育む取組の推進 ●学校・家庭・地域等が一体となった道徳教育等の推進 ●同和教育等の人権教育の実践、人権尊重精神の徹底	自分と違う意見につい て考えるのは楽しいと 思う（当てはまる・ど ちらかといえば当てはま る）と答えた児童生徒 の割合	小6 78.0% 中3 76.6% (2025年度)	小6 85.0% 中3 83.0% (2030年度)
	いじめへの対応強化と不登校児童 生徒への支援	●教育委員会と市長部局が連携したいじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応による早期解決の実現 ●専門家等と連携したチームによる支援体制の充実 ●いじめ対応での校長のリーダーシップ発揮による組織的対応の強化 ●いじめ認知共有システム（iシステム）の活用の推進 ●不登校児童生徒の保護者が悩み等を共有できる環境の整備			
3- (4) 安心して学べる 教育環境の充実	信頼される教員の育成	●自ら学び続け、情熱・指導力・人間力を備える教員の育成 ●ICT活用指導力など今後求められる教職員の資質・能力の向上 ●ICTを活用した校務・教務の効率化や標準化等を通じた教員の働き方改革の推進	困りごとや不安がある 時に、先生や学校にい る大人にいつでも相談 できる（当てはまる・ど ちらかといえば当てはま る）と答えた児童生徒 の割合	小6 74.8% 中3 79.6% (2025年度)	小6 80.0% 中3 85.0% (2030年度)
	安全・安心でおいしい学校給食の 提供	●安全・安心でこどもが喜ぶおいしい学校給食の提供、小中学校9年間を通した食育の推進			
	学校施設の充実	●学校体育館の空調整備やトイレの改修など学校施設の充実			
	学校規模の適正化	●小中一貫校の導入や校区の見直しなど一定の方針のもと学校規模の適正化の着実な推進			
	学校・家庭・地域が連携・協働する 教育の推進	●学校や教育活動に関する情報の公開、学校・家庭・地域の連携による子どもの健全育成に向けた取組の推進 ●家庭教育に対する支援やこどもも大人も学び合う環境の整備による家庭・地域の教育力の向上			
	生涯学習の推進	●多様な主体と連携した学習機会・情報の提供やリカレント教育（学び直し）の推進など学習環境の整備 ●図書館の資料・情報の充実、非来館型サービス等の利便性の向上 ●中央図書館が従来の役割に加え都市の機能・魅力の向上に寄与し市民が安心して滞在できる居場所となるよう再整備			
3- (5) 厳しい環境にある こどもと家庭への 支援の充実	ひとり親家庭等への支援	●ひとり親家庭等の状況に応じた生活の安定と向上のための取組を重点的に推進 ●困窮や孤独・孤立リスクの高いこども・若者への貧困の連鎖解消に向けた取組の推進 ●ヤングケアラーに対する家事等の負担軽減等の支援 ●日本語を母語としない保護者と暮らすこどもやその家庭への支援	ひとり親家庭の状況改 善につながる支援事業 の利用件数	444件 (2024年度)	519件 (2030年度)
	社会的養護の推進	●潜在的な里親希望者目線での周知啓発・募集等による里親登録者の増加促進 ●児童養護施設における家庭的養育のあり方の検討や専門人材の確保支援、寄附を活用した入所児童への支援 ●児童養護施設等の入所中からの自立した生活を送る力を身につける取組の推進、退所後における必要に応じた支援			

施策	取組の方向性	主な内容	KPI		
			指標	現状値	目標値
3- (5) 厳しい環境にある こどもと家庭への 支援の充実	重大な児童虐待ゼロをめざした取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校・児童福祉施設等の関係機関との連携強化など児童虐待の早期発見・早期対応につながる取組の総合的な推進</li> <li>●子ども相談所の児童福祉司・児童心理司等の人材確保など児童虐待防止に向けた体制等の充実</li> <li>●一時保護所入所児童数の状況等を踏まえた受入枠の拡充に向けた取組等の推進</li> </ul>	※前ページ記載	—	—
<b>4 人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractiveness~</b> 人や企業を惹きつける魅力を創出し、イノベーションを次々と生み出すことで持続的で発展的な地域の活性化につなげる。					
4- (1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	行政のデジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政サービス全般のオンライン化の推進</li> <li>●AIやRPA等の活用</li> <li>●オープンデータ化の推進などデータの活用</li> <li>●クラウド・バイ・デフォルトやスマート自治体の考え方を取り入れた業務プロセス・システムの標準化の推進</li> <li>●マイナンバーカードの取得と利活用の促進</li> </ul>	my door OSAKAの 利用登録者数	2,641人 (2024年度)	60,000人 (2030年度)
	都市や暮らしにイノベーションを生み出すスマートシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政や企業等が保有するデータの相互連携、住民ニーズに応じたサービス創出等の推進</li> <li>●my door OSAKAを活用したワンストップで市民それぞれに応じた複数のサービスをシームレスに提供する仕組みの整備</li> <li>●デジタル・ディバイドの解消に向けたICT機器の利用・操作に関する講習、サービス選択性の確保等の推進</li> </ul>			
	重点地域における先行的な取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●泉北ニュータウン地域を重点地域として全国共通の課題解決を図る取組を先行的に推進</li> <li>●スマートシティサービスに関する取組について実証プロジェクトの結果を踏まえた本格的な実装の推進</li> </ul>			
4- (2) 多様な人が集い交流する魅力的な都心エリアの形成	多様な人が集う魅力的な都市空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商業・業務・居住等の多様な都市機能の集積に向けた瓦町公園周辺等の市街地整備や民間開発等の促進</li> <li>●南海高野線連続立体交差事業を見据えた堺東駅周辺における堺の顔としてシンボル性のある駅街区への更新の推進</li> <li>●なにわ筋線の開業を見据えた堺駅周辺における堺の玄関口にふさわしい拠点性強化に向けた取組の推進</li> </ul>	都心エリアの歩行者通行量	64,500人/日 (2025年度)	68,400人/日 (2030年度)
	水辺空間など豊かな地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環濠の水辺・歩道空間等の都市アセットを活用した人々が集まり、憩い、交流する場の創出</li> <li>●堺旧港の海辺空間等の公共空間を活用した賑わいの創出</li> <li>●大阪・関西万博での取組を活かした堺旧港発着の海上交通の導入に向けた取組の推進</li> </ul>			
	便利・快適で脱炭素化に資する移動環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>●堺東駅と堺駅を結ぶ自動運転移動サービスの導入の推進</li> <li>●駅・バス停から目的地をつなぐ小型モビリティの導入の推進</li> <li>●交通・観光などの情報等を提供するサービスの導入の推進</li> <li>●都心エリアと本市東部を結ぶ拠点間ネットワークの構築</li> <li>●都心エリアを取り巻く将来の社会環境や都市環境の変化を見据えた都心交通のあり方の検討</li> </ul>			
4- (3) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	成長分野をはじめとする新事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中百舌鳥エリアに立地する大阪公立大学や産業支援機関と連携したイノベーションを生み出す基盤の構築</li> <li>●地域や社会における課題解決や新しい価値の創出と同時にビジネスとしての持続的な成長をめざす事業者の育成</li> <li>●府内関係部局や教育機関、金融機関等が連携したこどもの起業マインド醸成と担い手となる人材育成の推進</li> </ul>	イノベーション創出につ ながる事業数	101件 ※2020～ 2024年度累計	130件 ※2026～ 2030年度累計
	中小企業による新事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中小企業等の新事業創出を多面的に支援</li> <li>●生産性向上や新しいビジネスモデル構築等に挑戦する中小企業の支援</li> <li>●大阪・関西万博等の成果を活かした製品・技術の実用化や成長産業分野等への進出に取り組む中小企業の支援</li> <li>●中小企業のコア技術と大学の高度な研究シーズとのマッチングによる产学連携やオープンイノベーションの促進</li> </ul>			
	都市拠点にふさわしい駅前空間の創出と交通利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中百舌鳥エリアにおける賑わい・活力が感じられる駅前空間の創出や交通利便性向上の推進</li> </ul>			
4- (4) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造	多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ライフスタイルに即した働き方の支援や次世代ヘルスケア産業等の誘致による地域で働く環境の充実</li> <li>●近大医学部等と連携した健康増進の取組の推進</li> <li>●多様なニーズに応じた住宅供給、既存住宅の流通等の促進</li> <li>●泉北ニュータウンで特に増加が見込まれる空き家への対策強化</li> <li>●商業・サービス施設の立地誘導</li> </ul>	泉北ニュータウン全人口 に対する39歳以下の 人口割合	25.8% (2030年推計値)	26.8% (2030年度)
	豊かな緑空間と多様な都市機能の調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代モビリティによる地域内交通の利便性の充実</li> <li>●各駅前の特性に応じた利便性や機能向上等の取組の推進</li> <li>●公共空間の活用・再編による歩きたくなる魅力的な空間や環境の形成</li> <li>●近隣センターにおける商業・サービス・コミュニティ機能の向上など時代の変化に対応した機能再編の推進</li> </ul>			
	市民・企業・大学・団体など様々な主体との共創	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共空間等の利活用や管理・運営を公民連携で促進</li> <li>●駅前商業施設等を活用した多様な人が訪れる機会の創出</li> <li>●教育機関と連携した地域課題の解決や新たな研究・事業につながる取組の推進</li> <li>●地縁型のコミュニティへの支援や共通の趣味、公園・緑道等の場を共有する多様なコミュニティ活動の促進</li> </ul>			
	持続可能な地域をめざしたICTや社会資本の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」における実証プロジェクトの結果を踏まえた本格的な実装の推進</li> <li>●公的賃貸住宅等の再編に伴い発生する活用地の利用について長期的な視野に立った民間活力の導入</li> <li>●SENBOKU Welcome Book等を活用した泉北ニュータウンの居住魅力等の発信</li> </ul>			

施策	取組の方向性	主な内容	KPI		
			指標	現状値	目標値
4- (5) 民間投資の戦略的な誘導	戦略的な企業投資の推進	● ICT等の成長産業分野に関する投資の促進 ● 特定重要物資・技術に関する投資の促進 ● 脱炭素エネルギー供給拠点の整備に関する投資の促進 ● 金融機関等との連携や東京事務所が構築を進める首都圏のネットワークの活用による投資ニーズの掘り起こし等の推進	企業投資支援制度の認定投資額	770億円 ※2020～2024年度 (5年平均)	2800億円 ※2026～2030年度累計
	地域特性を踏まえた企業誘致の促進	● 都心は業務系、中百舌鳥はICTやスタートアップ、泉ヶ丘は次世代ヘルスケア等の拠点特性に合わせた事業所の誘致 ● 各地域の事業所の受け皿となる賃貸オフィスビルの建設費の支援 ● 中百舌鳥地域へのスタートアップ等の誘致促進に向けた大阪公立大学や交通事業者等の関係機関との連携強化			
	効果的な土地利用の促進	● 産業立地ポテンシャルの高い市街化調整区域などの規制緩和等による効果的な土地利用の促進			
4- (6) 次世代につなげる農業の促進	地産地消の推進	● 「堺のめぐみ」「泉州さかい育ち」のブランド力向上をめざした発信強化など知って選んで食べることにつながる取組の推進 ● 小売店や学校給食、地域の飲食店等における堺産農産物の利用促進 ● 堀産農産物を活用した新商品や事業の創出など多様な利用と消費拡大の支援	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合 (概ね6ヶ月以内)	59.6% (2024年度)	65.0% (2030年度)
	持続可能な農業振興	● 農業の将来のあり方を示す計画に基づく利用集積・集約化や遊休農地の発生防止など農地利用の最適化の推進 ● 新規就農者の発掘、農業後継者の円滑な経営継承と規模拡大等への支援 ● ICTやロボット技術等の導入の促進 ● 化学肥料等に過度に頼らない環境に配慮した農業の普及促進 ● 農業用施設の適正管理等の支援			
4- (7) 女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍	求職者の状況に応じた就労支援	● 求職者・企業双方への就職・人材確保に向けた伴走支援等の実施 ● 求職者のデジタルスキル等のリスキリングの支援 ● カウンセリングやマッチング機能の強化等による円滑な転職の支援	女性の就業率	54.5% (2024年度)	60.0% (2030年度)
	多様な人材が活躍できる環境の整備	● 高齢者のキャリアや希望等を踏まえた就労支援、企業への意識啓発、人材のマッチング等の実施 ● 障害者の能力や適性に応じた働き方の推進 ● 外国人の適切な受入推進、安心して働く環境整備の支援			
	女性が活躍できる社会の実現	● 公民連携による女性活躍の取組の推進 ● 一旦離職した人の再就職支援やライフスタイルに合った多様な働き方の支援など求職者の状況に応じた支援 ● 本市女性職員におけるキャリア形成支援の充実や登用機会の拡大			
<h2>5 強くしなやかな都市基盤～Resilience～</h2> <p>安全・安心な市民生活や社会経済活動の基盤として、犯罪のない、防災・減災力の高い強靭な都市や世界に発信できる環境先進都市を実現する。</p>					
5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	危機対応力の強化	● 大規模地震や激甚化・頻発化する風水害等の様々な危機事象に対して柔軟かつ迅速に対応できる体制の整備	耐震性能を確保した上下水道管路が接続する災害拠点数 地区防災計画の策定期率	73／197施設 (2024年度)	127／197施設 (2030年度)
	都市インフラの耐震化・浸水対策の推進	● 災害時に重要な役割を果たす橋りょうの耐震化や都市計画道路の整備、公園の整備・改修の推進 ● 避難所等の重要施設に接続する管路等を上下水道一体で耐震化 ● 雨水ポンプ場の整備等による浸水対策の推進 ● 高規格堤防と市街地の一体的整備の推進			
	安全な住宅ストックの形成	● 住宅の耐震診断や耐震・防災改修工事、新築・建替・除却等の推進 ● マンションの改善・建替や管理の適正化等の促進			
	空き家対策の推進	● 所有者等の適切な維持管理による空き家化の予防、空き家の活用・流通促進、管理不全空き家対策の推進			
	地域防災力の向上	● 家庭内備蓄など平時からの備えや適切な避難行動の啓発 ● 堀市総合防災センター等を活用した防災知識等の普及 ● 迅速・的確な災害情報の発信体制の強化 ● 地区防災計画の策定や自主防災組織の活動の支援 ● 社会福祉施設等における適切な避難や災害時の避難行動要支援者への支援等を関係機関と連携して推進			
	大規模災害を想定した対策の推進	● 被災地への応援体制の充実や応援の経験を活かした受援体制の強化など広域防災行政の推進 ● 医療機関等における発災後の役割分担の明確化や応急救護所の充実など災害時の医療提供体制の強化 ● 福祉避難所の指定や大阪府等と連携した体制の整備など災害時の福祉サービス提供に向けた取組の推進 ● 物資の確保や輸送体制の確立、学校体育館の空調整備等の避難環境充実など被災者支援の強化 ● 被災者の生活再建に向けた民間団体等も含む連携体制の強化			
5- (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	計画的な老朽化対策の推進	● 都市インフラや公共施設の計画的な維持管理による長寿命化の推進 ● 都市インフラについて予防保全の考え方も踏まえ点検結果等に基づき計画的に補修・更新	補修が完了した橋りょう数 下水道の重点路線における健全性確保率	—	80橋 ※2026～2030年度累計 100% (2030年度)
	人口動態に応じた総量の最適化	● 統廃合・複合化・再配置・他用途への転換等の推進による公共施設等の総量の最適化			
	民間の技術やノウハウの活用	● 都市インフラの維持管理等におけるAI等の先端技術や民間技術力の活用 ● 上下水道事業における国が示す公民連携手法であるウォーターPPPを視野に入れた最適な公民連携の推進 ● 持続可能で多様な世代が集い賑わう公園の整備・活用に向けた民間活力の導入やノウハウ活用の推進			

施策	取組の方向性	主な内容	KPI		
			指標	現状値	目標値
5- (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	安全で快適な道路ネットワークの整備	●都市計画道路の整備や南海本線・高野線の連続立体交差事業の推進 ●通学路等における危険箇所の点検等による安全・安心な歩行空間の確保や交通安全の課題解決の推進 ●児童から高齢者までのライフステージや属性に応じた交通安全教育の展開	※前ページ記載	—	—
	生活基盤としての公共交通の維持確保	●拠点間ネットワークの機能強化等による公共交通の利用促進 ●運転士不足への対応に向けた自動運転技術の活用 ●交通事業者等と連携した取組等によるバス路線の確保			
5- (3) カーボンニュートラルの推進	脱炭素型都市構造・社会システムの構築	●イノベーションの実装によるエネルギーの脱炭素化と利用の最小・最適化を通じた脱炭素型社会システムへの転換 ●新たな脱炭素モデルを構築し市内外への波及を推進 ●市有施設におけるLED化や省エネルギー改修等の推進 ●太陽光発電等の導入によるゼロエネルギー住宅の普及促進 ●製造工程の効率化等による省エネルギー化の促進	市の事務事業からの温室効果ガス排出削減量 (2013年度比)	32.2% (2024年度)	50.0% (2030年度)
	移動手段の変革と交通の脱炭素化	●安全で快適な自転車通行環境の整備やシェアサイクルの普及等の推進 ●電気自動車など環境に優しい自動車の導入や公共交通の利用の促進			
	気候変動適応策の推進	●気候変動により激甚化・頻発化する災害や熱中症リスクを高めるヒートアイランドへの対策の推進 ●熱中症に対する情報発信や注意喚起、熱中症特別警戒アラートの周知、指定暑熱避難施設の開放等の実施			
	生態系や緑の保全	●生物多様性の普及啓発や外来生物への対策など生態系の保全・再生の推進 ●都市緑地法や堺市緑の保全と創出に関する条例等に基づく制度を活用した南部丘陵の緑地保全の推進			
5- (4) 4Rに根差した循環型社会の形成	4Rの推進とごみの適正処理体制の確保	●情報発信等を通じた食品ロスを含む生ごみ削減やごみと資源の分別徹底 ●家庭系古紙類の回収強化 ●事業系ごみにおけるリサイクル体制の整備の推進 ●適切で効率的な収集運搬体制や安全・安心で安定的なごみ処理体制の確保 ●高齢者や障害者等のごみ出し支援	1人1日当たり家庭系ごみ排出量	559g (2024年度)	510g (2030年度)
	プラスチックの循環促進と排出抑制	●プラスチック使用製品廃棄物の分別収集やリサイクルに向けた検討等の推進 ●マイボトルの利用促進など使い捨てプラスチックの排出抑制に向けた取組の推進			
	環境学習の推進	●子どもや学生に对象を重点化した環境学習等の取組の推進 ●ナッジ等の行動科学の知見を活用した環境啓発等の推進			
	周辺地域や海外都市との連携	●周辺地域と補完し合い・支え合う地域循環共生圏の構築に向けた取組の推進 ●公害克服経験や市内企業が有する環境技術の強みを活かした国際都市間協力の推進			
5- (5) 犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現	防犯環境の整備	●地域・警察等と連携した各種防犯活動の推進 ●警察や地域との協議を踏まえた地域の防犯カメラの公設化等の推進 ●自主防犯活動の持続可能な活動への転換 ●事前・入口・水際の各フェーズに応じた総合的な特殊詐欺対策の実施 ●SNSを活用した情報発信やライフステージに合わせた効果的な消費者啓発・教育の推進	大阪重点犯罪認知件数 (性犯罪・特殊詐欺・自動車関連犯罪)	852件 (2024年)	750件 (2030年)
	性犯罪・性暴力の根絶に向けた「セーフシティさかい」の推進	●性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者とならない教育の充実や必要な知識を身につける啓発、情報提供の推進 ●公園の新設等における視認性向上に配慮した取組等の推進 ●大阪府や警察など関係団体との連携強化 ●性犯罪・性暴力の相談窓口の周知 ●性犯罪・性暴力被害者の二次被害を生じさせないための啓発等の推進			

## VI 計画の進行管理

### PDCAの考え方

- 重点戦略に掲げる施策を効果的・効率的に推進するため、毎年度KPI等の進捗状況を把握・評価し事業の見直しを行うなどPDCAサイクル（Plan→Do→Check→Action）を機能させ進行管理を行う。

### KGI・KPI設定の考え方

- 2035年度にめざす長期的なゴールとしてKGIを設定する。またKGIを多面的に評価するためのモニタリング指標を設定する。
- 重点戦略の施策に2030年度に達成をめざす重要業績評価指標としてKPIを設定する。KPIは①定量的な指標であること、②毎年度数値を把握できる指標であること、③本市が主体的に把握できる指標であること、④数値の変動要因を把握・分析できる指標であること、⑤外部要因の影響が大きすぎない指標であることを原則とし、計画期間の施策推進により達成可能な目標値を設定する。なお指標の把握が困難になった場合等はKPIの見直しも含め柔軟に対応する。

## VII 堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 序章

- 人口減少への対応や都市の活性化などの基本的な考え方や方向性が共通することを踏まえ市政運営の大方向である「堺市基本計画2030」と統合した計画とする。

### 基本方針

- まち・ひと・しごとの各創生分野の取組の推進にあたっては「堺市基本計画2030」の重点戦略と一緒に推進する。「堺市基本計画2030」のKGIを基本目標として設定する。

### 地方創生における基本的方向

- (1) 堺の特色ある歴史文化と強くしなやかな都市基盤～まちの創生～
  - (2) 将来に希望が持てる子育て・教育と人生100年時代の健康・福祉～ひとの創生～
  - (3) 人や企業を惹きつける都市魅力～しごとの創生～
- ※KPIは「堺市基本計画2030」と同一のものとする。